

しがの里山や川を美しくする会

しがの里山だより

巻頭言

よちよち歩きだが、「しがの里山や川を美しくする会」は、歩き始めた。東日本大震災の前に立ち足かかる困難に比べれば、「きれいな川・ほたる復活」は、そんなに難しいことではないかもしれない。第1回勉強会は、予想以上の反響で、何人もの新しい人が、顔を出してくれた。その人達との新たなつながりを大切にして、一步一步前進しよう。

6月25日は第2回勉強会とこれからの活動を決める総会が予定されている。稚鮎が溢れるように居た、昔の川を取り戻すために、東日本の方々に負けないように、頑張ろう。

第1回勉強会写真



第1回勉強会報告：

5月28日（土）和邇公民館において「きれいな川・ホタル復活プロジェクト」の第1回勉強会が開かれ、約30名の出席で行われました。

まず、しがの会代表の山田利春氏から和邇学区の川の状態についてスライドを使って濁流・汚染・気になる場所の写真を紹介していただきました。

続いて、大津市環境政策課の今西 章二氏と小倉 容子氏から大津市の環境政策の現状や川の環境について話をしていただきました。県や市が主な河川の河口付近を中心に晴天時の水質調査をしているが、有害物質を含めて今のところ大きな問題はない。また、ホタルは、葛川や千丈川・三田川などで発生は見られ、アユは安曇川や石田川・姉川などで多くの遡上が見られるが、和邇地域ではあまり報告もされていない、とのことでした。

質疑や意見交換では、住民の実感としては在来種の魚やホタルは明らかに減っており、住民の聞き取り調査や降雨時の水質調査、また汚染の履歴が残る河川の底泥調査や有害物質の調査など幅を広げて調査をしてほしいなどの声が出されました。

今後も市担当者や住民との交流を進めて、大津市は環境を守る実効性のある調査と施策を、さらに進めてほしいと思います。

「大津市パワーアップ・市民活動
応援事業」として行っている「き
れいな川・ほたる復活」プロジェ
クト、第2回の勉強会を総会に引
き続き開催します。

多くの方にご参加いただきま
すようお願いいたします。

4回シリーズ

きれいな川・ホタル復活勉強会

総会および第2回勉強会

- テーマ：鎌田川・喜撰川・和邇川の
昔を語る。
- 日時：6月25日（土）午後2時～4時
（総会は1時から）
- 場所：和邇市民文化ホール 2F

声

東日本大震災に想う

2011年3月11日におきた東日本大震災では、自然の脅威の前で人間がいかに非力かを見せつけられた。過去の地震・津波被害の教訓に学び、自然災害に柔軟に対応できる対策が今後望まれる。「天災は忘れた頃にやってくる」と言われるが、同じ失敗を繰り返さないことが犠牲になられた方々へのせめてもの鎮魂であろう。

また、同時に起きた原発震災は現代文明がいかにもろい基盤に立っているかを思い知らされた。もはや原発は「絶対安全」なのではなく、遠からずせまっている化石燃料の枯渇を考えれば、自然・再生エネルギーを主体とした省エネルギー社会への転換は避けられない。今回の震災では、新しい人と人との結びつきやネットワークが生まれている。このことを教訓に、自然と共生する持続可能な社会を私たちの地域からも作っていききたいと強く願う。（永島鉄雄）

6月4日、守山へほたるを見に行ってきました。

守山市では、行政、NPOさん、自治会さん、商店街さんなど地元の人たちがみんなで“ほたる舞う守山のまち”を守っています。次号で報告します。

こちらでも、負けないようなほたる舞うきれいな川を復活させたいですね。

ところで、和邇でも身近な所で、わずかですがほたるが飛んでいます。そのわずかなほたるを業者が網で取って行って、数が一段と減っているそうです。残念なことです。

何とかしたいですね。

(I.N)

まだまだ会員募集中

会員を募集しております。お知り合いの方に広げて下さい。

正会員・賛助会員どちらでも結構です。この会が今後発展していくことが、私たちの暮らしを豊かにし、美しい自然を将来の子供たちに残すことにつながります。

発行者

しがの里山や川を美しくする会

代表：山田 利春

電話：594-1049